

# 徳島県ヤングケアラーに関する実態調査 【学校調査・概要版】

令和5年2月

徳島県 未来創生文化部 次世代育成・青少年課  
こども未来応援室

# 調査の概要

## ○調査の目的

・本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っている「ヤングケアラー」の実態を把握し、必要な支援につなげるため、県内において「ヤングケアラーに関する実態調査」を実施し、ヤングケアラーと思われる児童生徒の生活実態を明らかにするとともに、支援ニーズや課題等を今後の施策に反映することを目的とする。

## ○調査の設計

	学校へのアンケート調査		
アンケートの名称	徳島県学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査		
調査対象者	公立小学校	公立中学校、県立中学校、 県立中等教育学校(前期課程)	県立高等学校(全日制)、 県立中等教育学校(後期課程)
調査期間	令和4年7月11日(月)～同年12月21日(水)		
調査方法	Webアンケートシステムを利用		
有効回答数	128件	77件	33件
(参考) 児童数・生徒数・学校数	164校	82校	33校

# 学校へのアンケート調査

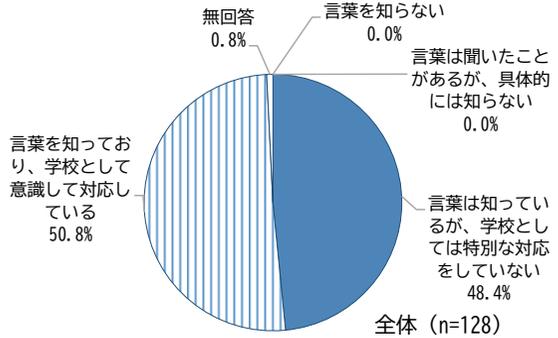
・「ヤングケアラー」概念の認識	.....	2p
・「ヤングケアラー」の実態把握の状況	.....	2p
・「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる 子どもの有無	.....	3p
・ヤングケアラーと思われる子どもの状況	.....	3p
・ヤングケアラーがいるか分からない理由	.....	4p
・ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと	.....	5p

注: 中学校・中等教育学校(前期課程)は「中学校」、高等学校・中等教育学校(後期課程)は「高校」と表記している

# 「ヤングケアラー」概念の認識

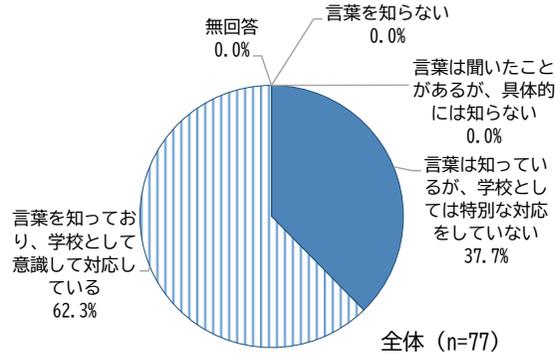
【小学校】「言葉を知っており、学校として意識して対応している」が50.8%で最も高い

■「ヤングケアラー」概念の認識 (小学校)



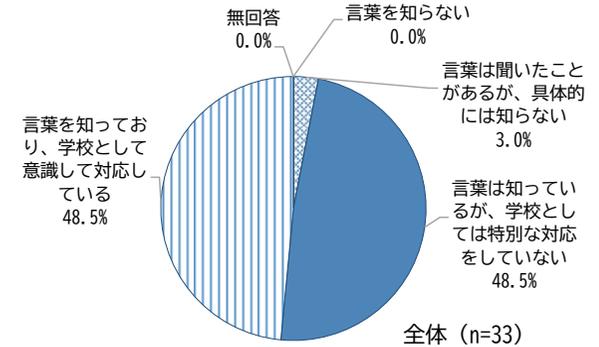
【中学校】「言葉を知っており、学校として意識して対応している」が62.3%で最も高い

■「ヤングケアラー」概念の認識 (中学校)



【高校】「言葉を知っており、学校として意識して対応している」「言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない」が48.5%

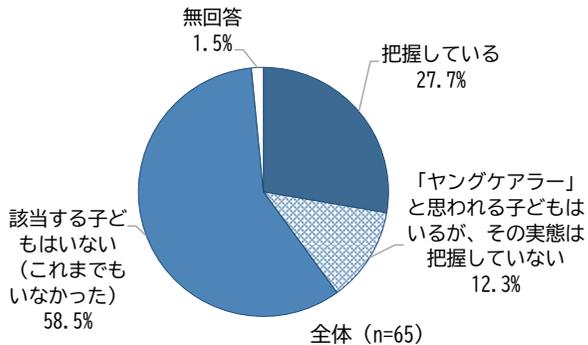
■「ヤングケアラー」概念の認識 (高校)



## 「ヤングケアラー」の実態把握の状況 (前問で「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校のみ)

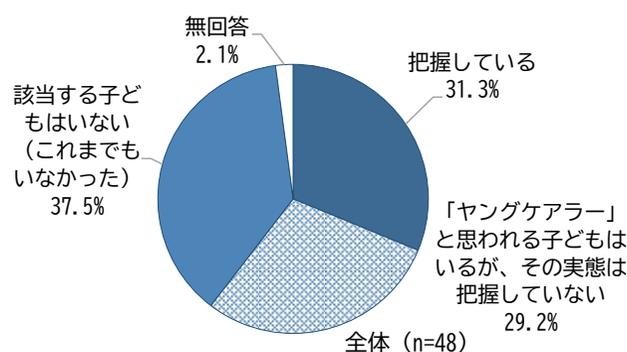
【小学校】「該当する子どもはいない (これまでもいなかった)」が58.5%で最も高い

■「ヤングケアラー」の実態把握の状況 (小学校)



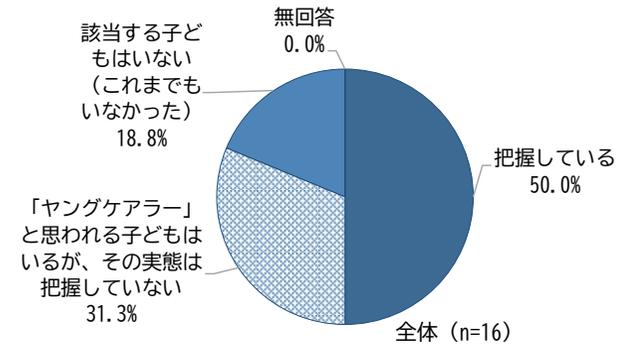
【中学校】「該当する子どもはいない (これまでもいなかった)」が37.5%で最も高い

■「ヤングケアラー」の実態把握の状況 (中学校)



【高校】「把握している」が50.0%で最も高い

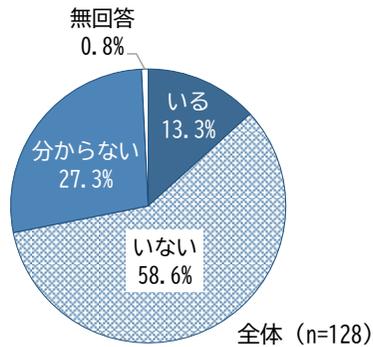
■「ヤングケアラー」の実態把握の状況 (高校)



# 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無

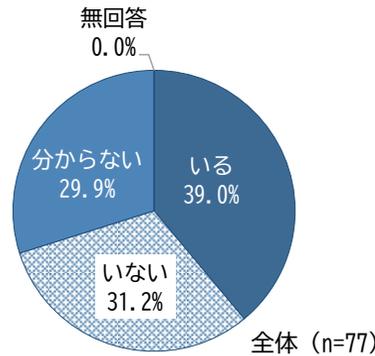
【小学校】「いない」が  
58.6%で最も高い

■「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無（小学校）



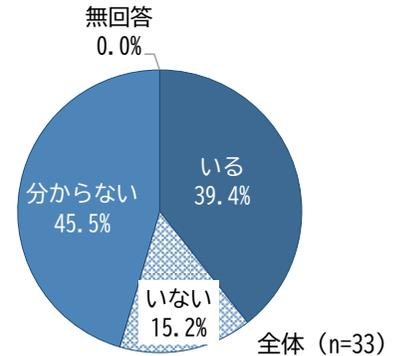
【中学校】「いる」が  
39.0%で最も高い

■「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無（中学校）



【高校】「分からない」が  
45.5%で最も高い

■「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無（高校）



## ヤングケアラーと思われる子どもの状況

【小学校】「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が82.4%で最も高い

■ヤングケアラーと思われる子どもの状況（小学校）（複数回答）（上位3位）

順位	状況
1	家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている(82.4%)
2	「家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている」「目を離せない家族の見守りや声掛けをしている」(17.6%)

【中学校】「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が76.7%で最も高い

■ヤングケアラーと思われる子どもの状況（中学校）（複数回答）（上位3位）

順位	状況
1	家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている(76.7%)
2	障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている(33.3%)
3	病気の家族の看病をしている(10.0%)

【高校】「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が69.2%で最も高い

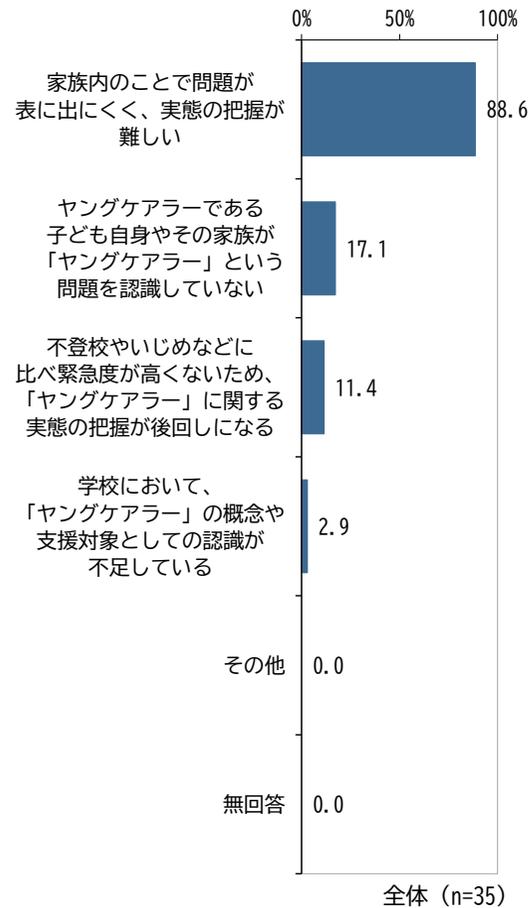
■ヤングケアラーと思われる子どもの状況（複数回答）（上位3位）（高校）

順位	状況
1	家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている(69.2%)
2	障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている(38.5%)
3	家族の通訳をしている(日本語や手話など)(23.1%)

# ヤングケアラーがいるか分からない理由

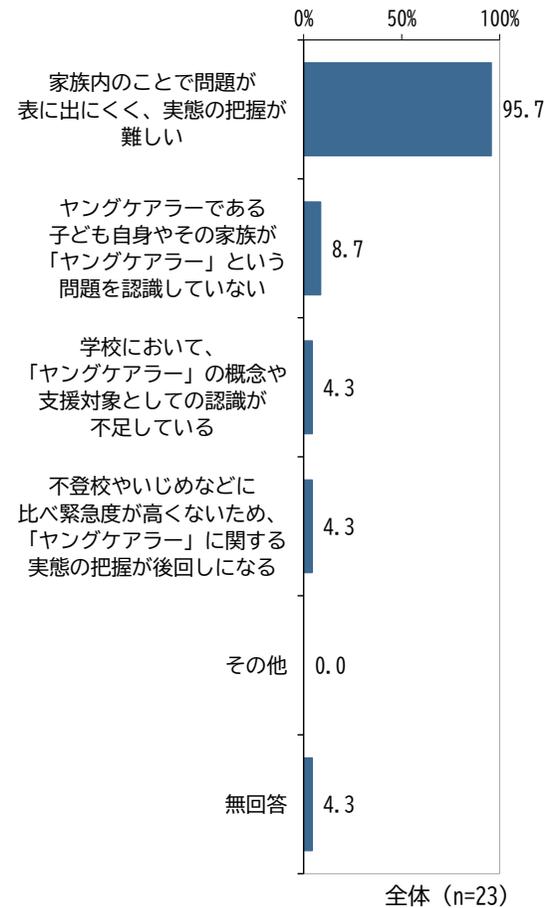
【小学校】「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が88.6%で最も高い

## ■ヤングケアラーがいるか分からない理由 (小学校) (複数回答)



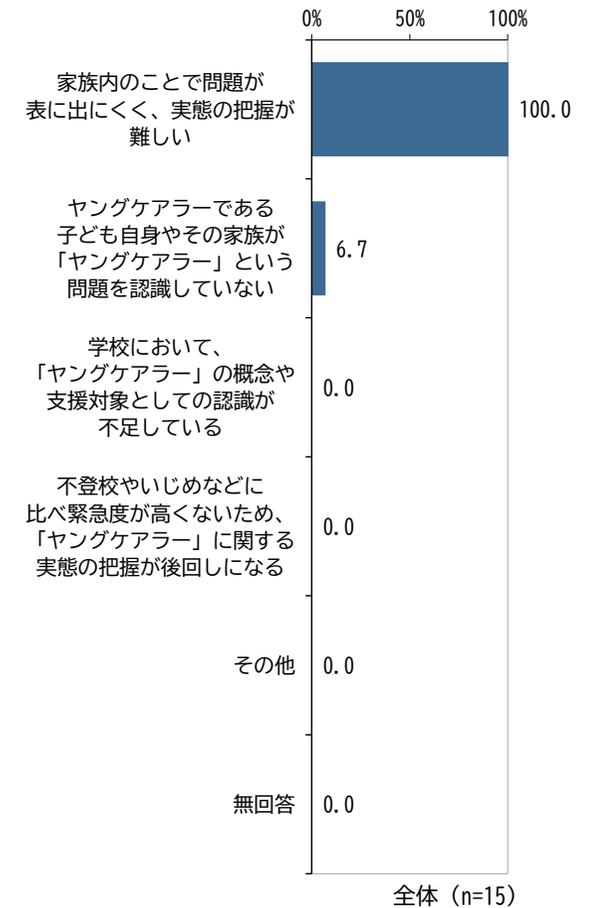
【中学校】「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が95.7%で最も高い

## ■ヤングケアラーがいるか分からない理由 (中学校) (複数回答)



【高校】「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が100.0%で最も高い

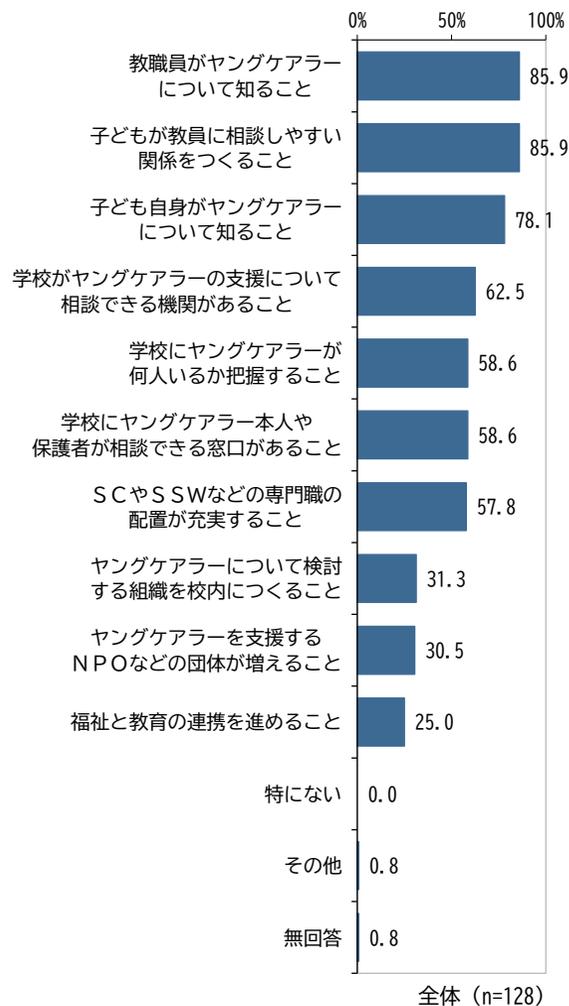
## ■ヤングケアラーがいるか分からない理由 (高校) (複数回答)



# ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

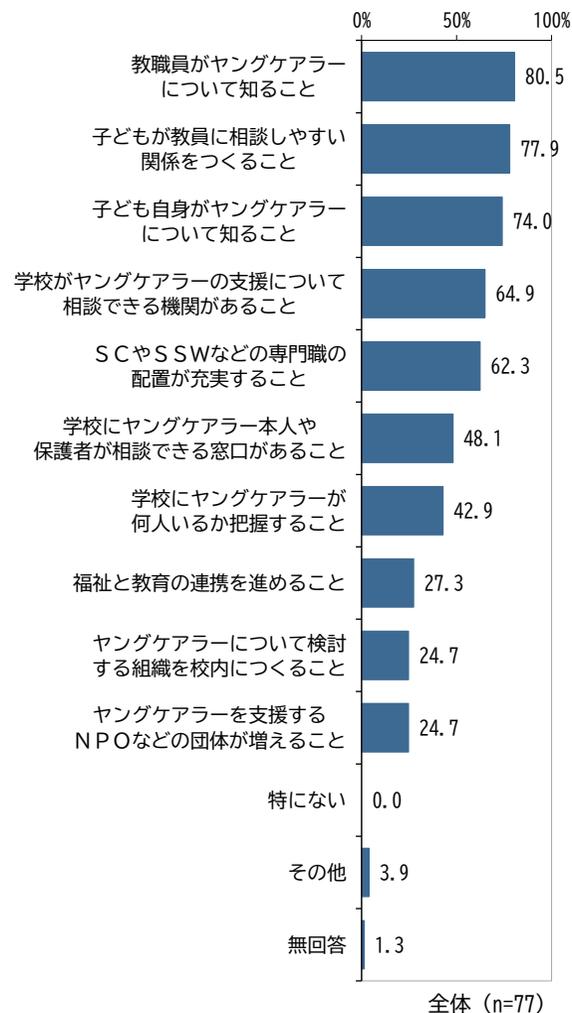
【小学校】「教職員がヤングケアラーについて知ること」「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」が85.9%で最も高い

## ■ ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと（小学校）（複数回答）



【中学校】「教職員がヤングケアラーについて知ること」が80.5%で最も高い

## ■ ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと（中学校）（複数回答）



【高校】「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」が75.8%で最も高い

## ■ ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと（高校）（複数回答）

